

活 野 名		作 業 内 容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	10月		11月				12月			1月			2月			3月			4月			5月以降	備 考
				26	2	9	16	23	30	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
防 護 装 備	1	防護装備の適正化検討	(実 績) ・DS2マスク不要作業でのDS2マスクを着用しない運用の定着、推進 (予 定) ・DS2マスク不要作業でのDS2マスクを着用しない運用の定着、推進 ※管理対象区域を3つのゾーンに区分し、各区分に応じた防護装備を着用することで、作業時の負担軽減による作業性の向上を図る	現場作業		DS2マスク不要作業でのDS2マスクを着用しない運用の定着、推進																		(継続実施)		
ヒ ュ ー マ ン エ ラ ー 防 止	2	ヒューマンエラー発生防止	(実 績) ・安全衛生推進協議会の開催：協力企業に対するヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等 (予 定) ・安全衛生推進協議会の開催：協力企業に対するヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等	現場作業			新規追加 2025年度2Qでの不適合・ヒューマンエラー・災害の振り返りを説明(11/13)		協力企業に対するヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等																(継続実施)	四半期毎に実施している不適合やヒューマンエラーの分析結果を踏まえ、安全衛生推進協議会にて四半期に一回程度、協力企業に対しヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等を啓発
人 身 安 全	3	重傷災害撲滅、全災害発生状況の把握	(実 績) ・協力企業との情報共有、安全施策の検討・評価 ・安全衛生推進協議会の開催：災害事例等の再発防止対策の周知等 ・作業毎の安全施策の実施（TBM-KY等） ・熱中症予防対策の実施（4～10月） ・福島第一原子力発電所における熱中症予防対策の実施状況の報告 (予 定) ・協力企業との情報共有、安全施策の検討・評価 ・安全衛生推進協議会の開催：災害事例等の再発防止対策の周知等 ・作業毎の安全施策の実施（TBM-KY等）	現場作業		情報共有、安全施策の検討・評価																			(継続実施)	
						熱中症予防対策の実施（4～10月）			新規追加 福島第一原子力発電所における熱中症予防対策の実施状況の報告(11/27) ▼																	
労 働 環 境 改 善	4	長期健康管理の実施	(実 績) ・検査対象者・医療機関等からの問い合わせ対応及び検査費用の精算手続き ・2025年度対象者（社員）への「白内障検査」（本社）実施 (予 定) ・検査対象者・医療機関等からの問い合わせ対応及び検査費用の精算手続き ・2025年度対象者（社員）への「白内障検査」（柏崎刈羽）実施	現場作業		健康相談受付																			(継続実施)	
						【検査受診期間】検査対象者・医療機関等からの問い合わせ対応及び検査費用の精算手続き																		(継続実施)		
健 康 管 理	5	継続的な医療職の確保と患者搬送の迅速化	(実 績) ・1F救急医療室の勤務医師調整 (予 定) ・1F救急医療室の勤務医師調整	検討・設計		1F救急医療室の勤務医師調整																			(継続実施)	
	6	感染症対策の実施	(実 績) ・インフルエンザ予防接種の実施 (予 定) ・インフルエンザ予防接種の実施	現場作業		インフルエンザ予防接種の実施																				
要 員 管 理、 労 働 環 境 改 善	7	作業員の確保状況と地元雇用率の実態把握	(実 績) ・作業員の確保状況と地元雇用率についての調査・集計 (予 定) ・作業員の確保状況と地元雇用率についての調査・集計	検討・設計		作業員の確保状況と地元雇用率についての調査・集計																			(継続実施)	
	8	労働環境・就労実態に関する企業との取り組み	(実 績) ・労働環境・就労実態に関する意見交換及び実態把握 ・意見交換及び実態把握に基づく解決策の検討・実施・結果のフィードバック ・相談窓口への連絡（処遇・労働条件等）への対応 ・作業員へのアンケートによる実態把握 (予 定) ・労働環境・就労実態に関する意見交換及び実態把握 ・意見交換及び実態把握に基づく解決策の検討・実施・結果のフィードバック ・相談窓口への連絡（処遇・労働条件等）への対応 ・作業員へのアンケートによる実態把握	検討・設計		労働環境・就労実態に関する意見交換及び実態把握、解決策の検討・実施・結果のフィードバック																			(継続実施)	
				現場作業		作業員へのアンケート(第16回)																				

活 野 名	活 り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定						10月			11月			12月			1月	2月	3月	4月	5月以降	備 考
			26				2		9			16		23		30	上	中	下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	

労働環境改善

R zone [アノラックエリア] ※1

Y zone [カバーオールエリア] ※2

G zone [一般服エリア] ※3

連続ダストモニタ

※ 1 1～3号機原子炉建屋内、及び1～4号機タービン建屋並びに周辺建屋のうち滞留水を保有するエリア

※ 2 上記以外においてもG zone内で高濃度粉じん作業（建屋解体等）や濃縮塩水等のタンク移送ラインに関わる作業を行う場合は、Y zoneを一時的に設定する。

※ 3 図中のG zoneの他、共用プール建屋の一部エリアも対象とする。

管理対象区域の運用区分 レイアウト

提供：日本スペースイメージング、©DigitalGlob